

法政大学 通信教育部
(スクーリング)

「経済学入門B／経済学入門Ⅱ」
第5回講義ノート

担当教員：ブー・トゥン・カイ (Vu Tuan Khai)

本：p. 105~

1. 貨幣とは
2. 中央銀行とは
3. 中央銀行の業務①準備預金制度の維持
4. 中央銀行の業務②現金通貨の発行
5. 中央銀行の業務③金融政策の実行
6. 中央銀行の業務④金融システムの安定化

貨幣の機能と中央銀行の役割

4章

イントロダクション

- 前章で学んだこと: お金の貸借をする金融の役割。
 - お金、つまり貨幣には色々な機能があり、その発行及び量の管理は中央銀行が行う。
 - 中央銀行にはその他にも準備預金制度の維持や金融政策の企画・実行、金融システムの安定化などの役割がある。
- 本章の目的: 貨幣の持つ機能と中央銀行の果たす役割について学ぶ。

Keywords

貨幣の機能、貨幣供給量、貨幣需要、準備預金制度、中央銀行、金融政策、金融システムの安定化

本：p. 106~

貨幣(通貨)とは

第1節

貨幣(通貨)の機能

- お金のことを**貨幣(通貨)**と呼ぶ。
- 厳密な定義: 以下の3つの機能を持つものが貨幣。
 1. **決済手段**（交換手段ともいう）としての機能
 2. **価値尺度**(値段の単位)としての機能
 3. 富・資産の価値の貯蔵機能
- 決済：財・サービスと代金を交換することで取引を完結させること。

POINT 4.1 貨幣(通貨)の持つ3機能

①決済手段、②価値尺度、③価値の貯蔵

取引技術としての貨幣

- 貨幣の3つの機能のうち、交換手段は最も重要で貨幣の本質を表す。
- 貨幣がなければ、取引はとても不便で非効率的。
 - 貨幣がない環境下での取引は、物と物を直接交換することになるが、これを物々交換という。例えば、米を持つA氏が布が欲しい場合を想定しよう。A氏は、①布を持ち、②米が欲しい、という2つの条件を満たす相手を探す必要がある。なお、このように物々交換で取引主体同士が持つ物と欲しい物が同時に一致することを欲求の二重の一致という。欲求の二重の一一致を満たす相手を探すのは手間（コスト）がかかる。経済規模が大きくなるとその取引コストはとてつもなく膨大になるであろう。
- 貨幣があれば、持つ物→貨幣→欲しい物という手順で取引を進めれば良く、欲求の二重の一一致の成立は不要。
- このように、貨幣は取引を円滑にする一つの技術と言える。

現金通貨・預金通貨・貨幣供給量

- 貨幣(通貨)の種類
 - 現金通貨: 目に見えるお金。硬貨と紙幣からなる。中央銀行により発行。
 - 預金通貨: 現金へ換金しやすい(流動性の高い)普通預金や企業が決済に用いる当座預金からなる。
- 貨幣供給量(Money supply): 貨幣が国全体に流通する量。別名マネーサプライ。

POINT 4.2 貨幣供給量(マネーサプライ)の定義

貨幣供給量(M) = 現金通貨 + 預金通貨

貨幣供給量に関する統計

- 貨幣の統計を整備する日本銀行（通称：日銀）は貨幣供給量をマネーストックと呼ぶ。
- 貨幣の統計には複数種類(M1～M3)がある。

CHART

表 4.1 貨幣供給量の種類

	通貨・預金の種類		対象金融機関（預金）	
	現金通貨 預金通貨	定期預金 外貨預金等	ゆうちょ銀行、 農協など	左記以外の 銀行
M1	○	×	○	○
M2	○	○	×	○
M3	○	○	○	○

p.109

(注) ○：含まれる。×：含まれない。

(出所) 日本銀行ホームページ。

本：p.109～

中央銀行とは

第2節

中央銀行の使命・諸業務

- 民間の金融機関と違い、利益をあげることが中央銀行の使命ではない。
- 日銀(日本の中銀)の理念：物価の安定を図り国民経済の健全な発展に資する。
- 中央銀行の諸業務
 1. 準備預金制度の維持。
 2. 現金通貨の発行。
 3. 金融政策の実行。
 4. 金融システムの安定化。
- ほかに政府資金の管理や為替介入も行う。

2節のまとめ

POINT 4.3 中央銀行の使命と業務

- 使命：物価の安定およびそれを通した経済の成長・発展
- 主な業務：準備預金制度の維持、現金通貨の発行、金融政策の実行、金融システムの安定化など

本： p.111 ~

中央銀行の業務① 準備預金制度の維持

第3節

「銀行の銀行」としての中央銀行

- 民間の金融機関には、預金者から預かる預金総額の**一定割合**を法定準備金として中央銀行当座預金口座に預ける義務がある。
- 上記の割合を**預金準備率**と呼ぶ（法定準備率とも）。
- 民間金融機関のバランスシート（表4.2参照）において、準備預金は資産の項目に入る。

POINT 4.4 準備預金制度

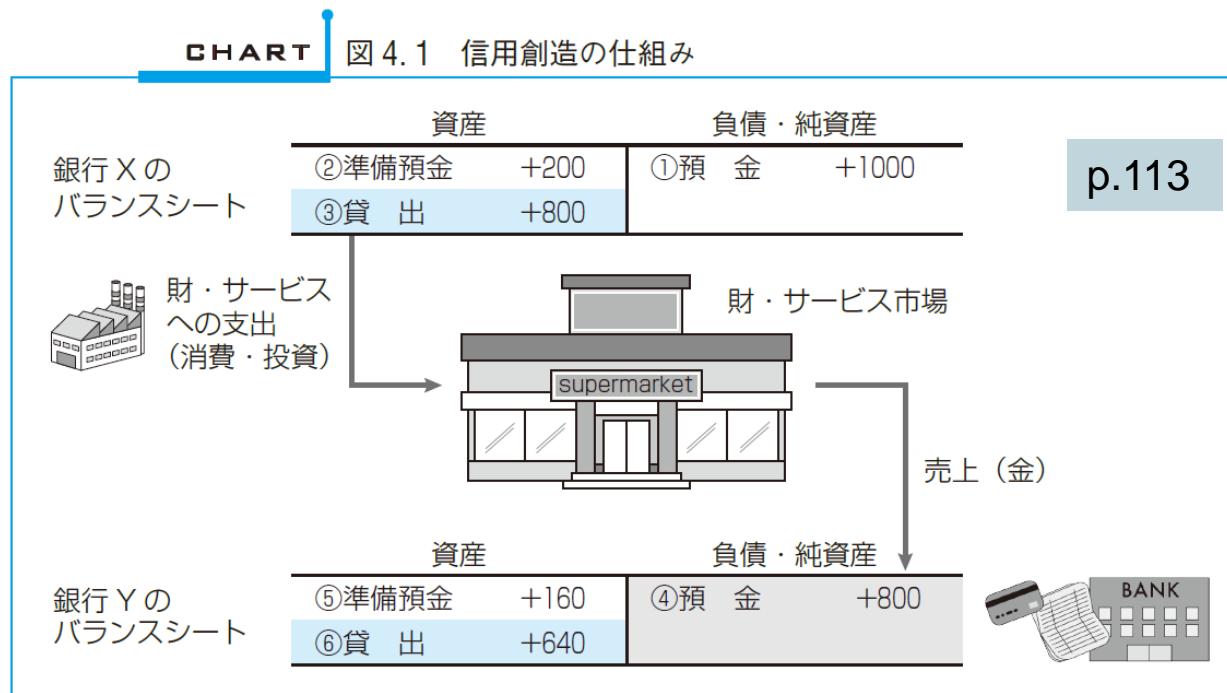
金融機関が預金額の一定割合（預金準備率）を中央銀行に預ける制度

決済システム

- **決済システム**：経済主体の間でスムーズにお金や証券の受け渡しが行われるための仕組み。
- 民間金融機関同士の決済：**中央銀行当座預金口座**を通して行う。
 - **日銀ネット**：決済に用いるネットワーク。日銀が管理。
 - 中央銀行：決済システムを管理し、その安定化を図る責務がある。

信用創造(1) 仕組み

- 金融機関が預かった預金を他の人に貸し出すと、貸し出されたお金は財・サービスへの支出に回り、さらに新たな預金が生まれる。



信用創造(2) 預金の増大

- 預金準備率を20%とし、経済主体は余ったお金を現金として持たず、全て銀行に預けるとする。
- まず銀行Xが預金を1000円預かるとする。
 - 準備預金200円を除いた800円が貸し出しに回る。
 - 貸し出されたお金は支出され誰かの売上(収入)に。
 - 売上は別の銀行Yに預金される。
- 同様に、貸出・支出を経て**預金が増え続ける**。

POINT 4.5 信用創造

金融機関が預金を自ら増やす仕組みのこと

本： p.114 ~

中央銀行の業務② 現金通貨の発行

第4節

発券銀行としての中央銀行

- 中央銀行以外の組織が現金通貨(法定通貨)を発行することは認められていない。
 - 主な理由：通貨が複数種類あると取引が混乱するなど。
 - 中央銀行：現金通貨を独占的に供給する**発券銀行**。
- 日本銀行は円を、アメリカの中央銀行である連邦準備制度理事会(FRB)はドルを、**欧洲中央銀行**(ECB)はヨーロッパ統一通貨のユーロを発行。
- 現金通貨の供給は金融機関を介して行われる。
 - 例えば、中央銀行が民間銀行から国債を買い、対価として発行した現金で支払うと、現金は中央銀行から民間銀行の手に渡る。

インフレ、デフレと貨幣供給

- 物価が増加し続けることをインフレ、下落し続けることをデフレという。
 - 貨幣供給量が増えると貨幣価値が下がりインフレが起こる傾向。
 - 貨幣供給量が減るとデフレになる傾向。
- 中央銀行は貨幣供給量をコントロールして物価の安定を図る。

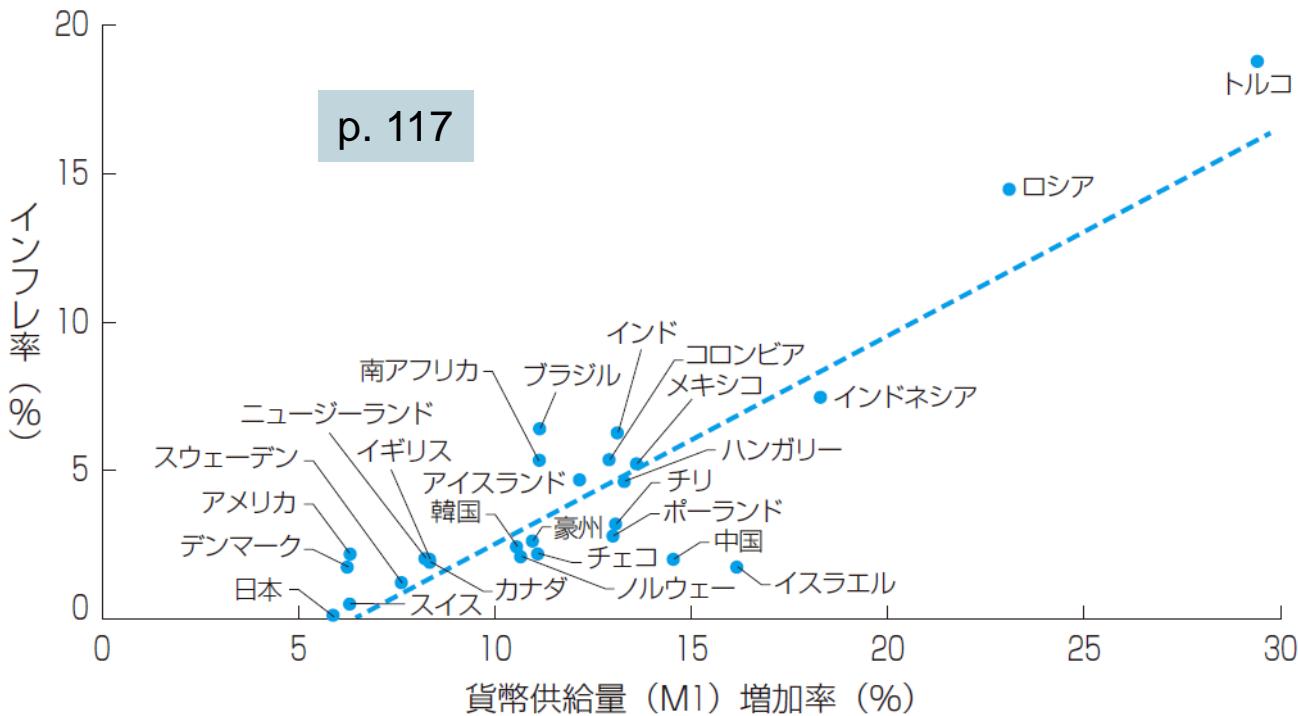
POINT 4.6 貨幣供給量と物価上昇

貨幣供給量の増加率とインフレ率との間には正の関係がある
(→次ページの図4.2)

インフレと貨幣供給の関係

CHART

図 4.2 物価上昇と貨幣供給量との関係



(注) 貨幣供給量の増加率、インフレ率ともに、1998年から2018年までの過去20年間の平均値を示している。

(出所) OECD.Stat.

マネタリーベース(1)

- 貨幣のうち、中央銀行が直接コントロールできる、現金通貨と準備預金通貨の部分をマネタリーベースという。
- 中央銀行は貨幣供給量の値を直接決定できない。
 - 現金通貨の発行量はコントロール可能。
 - 預金通貨の量は預金者が決める。
- 中央銀行は、預金準備率を調整することで準備預金の値もコントロール可能。

POINT 4.7 マネタリーベースの定義

マネタリーベース = 現金通貨 + 準備預金

マネタリーベース(2)

- マネタリーベースの二つの側面

- 貨幣のうち中央銀行が直接コントロールできる部分としての面。
- 中央銀行の**負債**としての面。

表 4.3 中央銀行のバランスシート（簡略化）

p. 118

資 産	負 債
貸出金	現金通貨（発行銀行券）
コマーシャルペーパー	準備預金 など
国 債	
社 債	
投資信託 など	純資産
	資本金 など

本： p.118 ~

中央銀行の業務③ 金融政策の実行

第5節

金融政策とは

● 金融政策

- 物価と経済の安定のため中央銀行が貨幣供給量や政策金利を変更する経済政策のこと。
- 実施するために様々な手段を有する。

POINT 4.8 金融政策の主な手段

- ① **公開市場操作**：資金供給量の調節
- ② **公定歩合操作**：金融機関への貸出金利の調節
- ③ **預金準備率操作**：預金準備率の調節
- ④ **超過準備預金金利操作**

政策手段①——公開市場操作

- 中央銀行が金融市場で債券などを売買すること。
貨幣供給量をコントロールする手段。
- 債券を購入する**買いオペ**：貨幣供給量を増やす。
 - メカニズム： 中央銀行による債券購入 ⇒ その対価として中央銀行にある、民間銀行の当座預金口座に資金を振り込む ⇒ 準備預金↑ ⇒ マネタリーベース↑ ⇒ 貨幣供給量↑
- 債券を売却する**売りオペ**：貨幣供給量を減らす。
- 中央銀行はインフレの際には売りオペを、デフレの際には買いオペを行う。
- 主に資金貸借の期間が1年以内の短期金融市場が公開市場操作の対象。

政策手段②——公定歩合操作

- **公定歩合**：金融機関が中央銀行からお金を借りる場合にかかる金利のこと。
 - 公定歩合が下がると金融機関はお金を調達しやすくなり、貸し出しが増え、貨幣供給量が増える。
 - 公定歩合が上がると貨幣供給量は減る。
- 公定歩合による貸し出しは非常時が中心。
- 多くの中央銀行は公定歩合操作よりも公開市場操作を重視。

政策手段③——預金準備率操作

- 預金準備率の調節：(中央銀行が値を直接決められる)マネタリー・ベースが貨幣供給量に与える影響の程度を変化させる。
- 貨幣乗数：貨幣供給量とマネタリー・ベースの比。

$$\text{貨幣乗数} = \frac{\text{現金預金比率} + 1}{\text{現金預金比率} + \text{預金準備率}}$$

- 預金準備率の低下は、(上式の分母↑、分数↑ ⇒) 貨幣乗数を上げ、貨幣供給量を増やしやすくする。
- 預金準備率の上昇は貨幣乗数を減らす。
- 貨幣乗数の値は 1 を超える(∵ 預金準備率 < 1)。

政策手段④——超過準備預金金利の操作

- 超過準備預金金利：準備預金のうち法定準備金を超えた部分の**超過準備**の一部につく金利。
- 超過準備預金金利も中央銀行が決定。
 - 超過準備預金金利の上昇は企業への融資をするメリットを弱め、貸し出しを減らし、貨幣供給量を減らす。
 - 超過準備預金金利の低下は貸し出しを増やし貨幣供給量を増やす。
- 日本銀行が超過準備に金利を付ける仕組みを**補完当座預金制度**と呼ぶ。

政策金利

- 中央銀行が金融政策の一環として値を決める金利のことを**政策金利**とよぶ。
 - 政策金利を上げる(下げる)こと：利上げ(利下げ)。
 - 中央銀行の多くは短期金利を政策金利に設定。
- **コール金利**： 金融機関同士が資金を1日程度貸借するコール市場に付く短期金利。
- **無担保コール翌日物金利**： 借りたお金を翌日に返す、無担保の取引にかかるコール金利。日銀は通常この金利を政策金利に設定。

金融緩和と金融引き締め

- 貨幣供給量を増やす**金融緩和**政策は物価をあげ、貸出、企業の投資を増やし経済活動を刺激。
- 貨幣供給量を減らす金融政策を**金融引き締め**政策という。金融緩和と逆の効果がある。

POINT 4.9 金融政策の分類

- 金融緩和：貨幣供給量を増やし、物価を押し上げ経済活動を活発化させる
- 金融引き締め：貨幣供給量を減らし、物価を下げ経済活動を鎮静化させる

政策決定の独立性

- 中央銀行を政府が支配下に置く場合、財源を紙幣の増刷に頼りがちとなる。
 - 紙幣発行により生じる収入: **通貨発行益(シニヨレッジ)**
 - 貨幣供給量が増え **インフレを招く可能性が高くなる。**
- 多くの先進国では中央銀行の意思決定を政府から **独立**させている。
- 日本銀行：日銀の **金融政策決定会合**において、日銀政策委員の多数決により政策決定。

日本の非伝統的金融政策

- 90年代以降の日本：不況・物価下落に苦しむ。
- さまざまな**非伝統的金融政策**を実行。

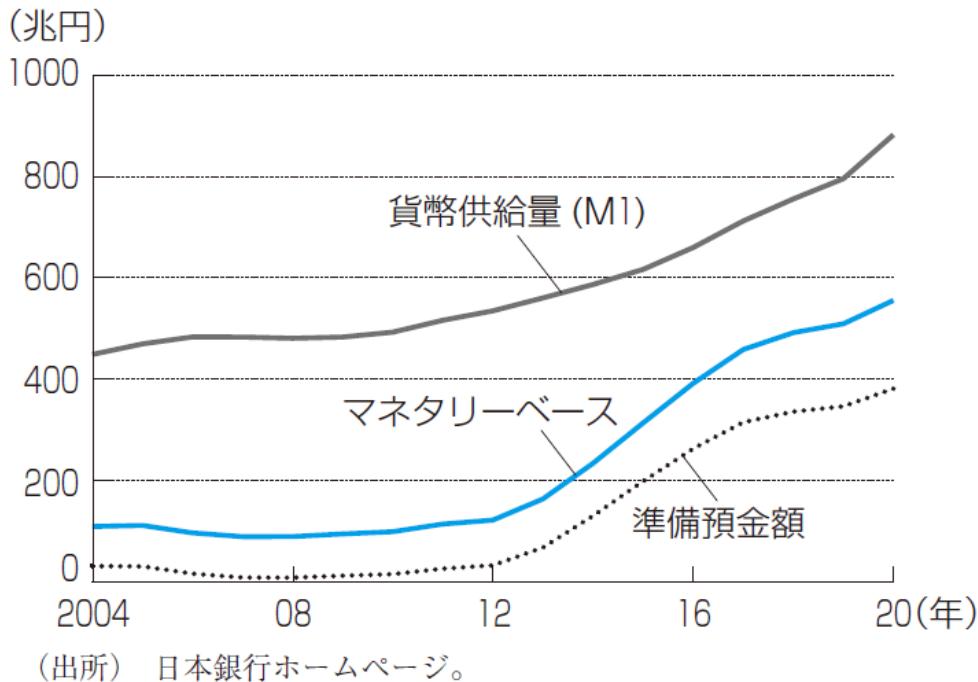
年	政策名称	概要
1999年	ゼロ金利政策	政策金利をゼロに
2001年	量的金融緩和政策	政策目標を金利から日銀当座預金残高に変更
2013年	量的質的金融緩和	マネタリーベースや長期国債・ETFの保有額を2年で2倍にする目標設定
2016年	マイナス金利政策	超過準備にかかる金利をマイナスに

貨幣供給量・マネタリーベースの推移

CHART

図 4.3 貨幣供給量 (M1) とマネタリーベースの推移

p. 125



(出所) 日本銀行ホームページ。

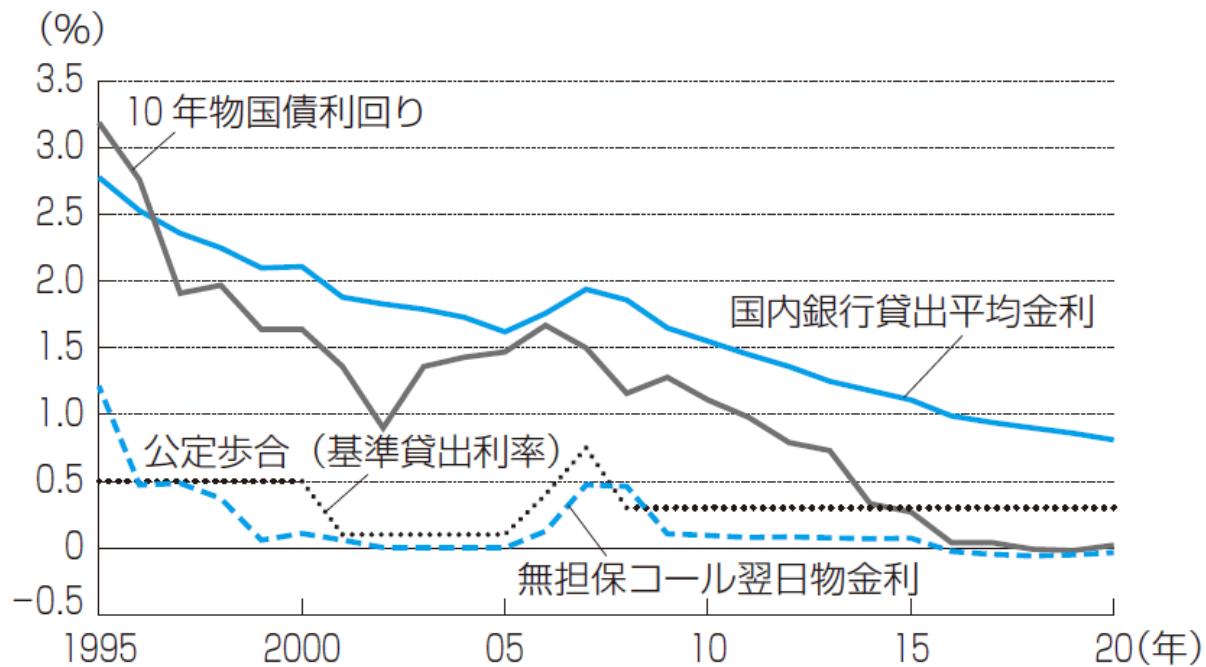
2013年以降のマネタリーベース急増の要因：量的金融緩和政策

金利の推移

CHART

図 4.4 日本の金利の推移

p. 126



(注) 国内銀行平均貸出約定金利は、1年以上の期間の貸出金利の平均。

(出所) 日本銀行ホームページ、内閣府「令和3年度年次経済報告『長期経済統計』」。

本： p.126 ~

中央銀行の業務④ 金融システムの安定化

第6節

金融機関に対する検査

- 多くの金融機関が参加する資金貸借の仕組み全体を指して**金融システム**と呼ぶ。
- 中央銀行は金融システムを安定的に機能させる役割も担う。
- 金融機関の経営状態を把握するため、中央銀行は金融機関の**検査**を行う。日銀の行う検査は考査と呼ばれる。

最後の貸し手としての中央銀行

- 金融機関の経営が悪化すると預金者は自らの預金を下ろし現金化しようとする：**取り付け**。これを放置すると金融機関の資金が枯渇し、破綻。
- その影響は他の銀行にも拡大⇒金融システム不安定化
- 中央銀行は**最後の貸し手**として経営が悪化した、または破綻した金融機関に融資し、混乱を阻止。

POINT 4.10 中央銀行の金融システム安定化策

- 金融機関の検査・監督
- 経営危機に陥った金融機関への融資

第4章のまとめ

1

- ・貨幣には決済手段、価値尺度、金融資産としての機能がある。

2

- ・貨幣供給量は現金通貨と預金通貨の和に等しい。
- ・中央銀行が調節できる貨幣を示すマネタリーベースは現金通貨と準備預金の和に等しい。

3

- ・中央銀行は現金通貨の発行、準備預金制度の維持、金融政策の運営、金融システム安定化を主な役割とする。

4

- ・金融政策は、公開市場操作、公定歩合操作、預金準備率操作などからなる。
- ・中央銀行は金融政策により貨幣供給量を調節する。